

# 2018年度 教員実績

## 凡 例

教員業績は、表象文化論コース、比較文学比較文化コース、文化人類学コースの順に、そして教員名は五十音順で並べられている。各業績を、以下のように、3つの大きな項目に分けて紹介している。

### 1. 研究・研究成果の公刊

- (1) 著書
  - 1. 単著
  - 2. 編著
  - 3. 共著
- (2) 論文
  - 1. 単著
  - 2. 共著
- (3) 学会、研究会発表
- (4) 書評、記事、エッセー、その他
- (5) 辞書編纂、翻訳、上演等その他

### 2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目
- (2) 後期課程担当科目
- (3) 大学院担当科目
- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

### 3. 学内行政業務

2018年度に担当した主な役職、学内委員、特記すべき業務

# 表象文化論コース

## ||| 一條 麻美子

---

### 2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目  
初修ドイツ語
- (2) 後期課程担当科目  
表象文化史演習
- (3) 大学院担当科目  
表象文化論演習 I

### 3. 学内行政業務

教育研究経費委員

## ||| オデイ、ジョン

---

### 1. 研究・研究成果の公刊

- (2) 論文
  1. 単著
    - ・ J. O’Dea, 2018, “Art and Ambiguity: A Gestalt-Shift Approach to Elusive Appearances”, Phenomenal Presence, F. Dorsch and F. Macpherson (ed.) Oxford University Press, 58–76. (Total pages: 304, ISBN: 9780199666416)
  - (3) 学会、研究会発表
    - ・ J. O’Dea, “What is a Sense Modality?”, Setouchi Philosophy Forum: Bridging Analytic and Phenomenological Approaches, July 1, 2018, at Hiroshima Institute of Technology.
    - ・ J. O’Dea, “The Varieties of Pictorial Experience: Is Picture Perception Confined to Vision?”, Hamburg-Japan Philosophy Workshop, August 24, 2018, University of Hamburg.
  - (4) 書評、記事、エッセー、その他
    - ・ J. O’Dea, 2018, “Book Review: Sensory Blending: On Synaesthesia and Related Phenomena”, Notre Dame Philosophical Reviews, <https://ndpr.nd.edu/news/sensory-blending-on-synaesthesia-and-related-phenomena/>

### 2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目  
教養英語、総合科目(L)
- (2) 後期課程担当科目  
Historical Introduction to Analytic Philosophy
- (3) 大学院担当科目  
Philosophy of Pictorial Representation

### 3. 学内行政業務

英語部会運営委員、グローバルコミュニケーション研究センター運営委員、グローバルコミュニケーション研究センター補佐、ALESS/ALESA運営委員、ALESS/ALESA マネージングダ

## || 加治屋 健司

### 1. 研究・研究成果の公刊

#### (2) 論文

##### 1. 単著

- ・「グロイスにおける芸術の制度と戦後日本美術」『思想』1128号(2018年4月)、87-99頁。

##### 2. 共著

#### (3) 学会、研究会発表

- ・「ナバホ／ノーランド・プロジェクト カラーフィールド絵画とアメリカ先住民文化」(共同研究「覇権主義と美学 インディアン同化政策とアメリカ現代美術」、東京、多摩美術大学、2019年3月27日)。
- ・「宇佐美圭司《きずな》の廃棄と画像の再制作」(国際シンポジウム「現代美術の再制作／再構築 保存修復の観点から」、京都、京都大学、2019年3月18日)。
- ・「世界と日本における芸術祭の歴史と文脈」(あいちトリエンナーレ2019第14回トリエンナーレスクール、豊田市中央図書館、2019年3月17日)。
- ・“Exhibiting the Old and the New: ‘Tokyo: Form and Spirit’ Show and its Reception,” U.S.-Japan Curatorial Exchange Workshop, Minneapolis Institute of Art, December 6, 2018.
- ・“Japanese Painters on the Southern Front,” Joint International Workshop with Asia Theories Network “Souths of Asia: Aesthetics, Theory, Archive,” National Taiwan University, Taipei, November 24, 2018.
- ・「美術史のなかの《きずな》」(東京大学「宇佐美圭司《きずな》から出発して」、東京大学大講堂(安田講堂)、2018年9月28日)。
- ・「アーツプロジェクト史概論 アーツプロジェクトの歴史を紐解く」(ARTS PROJECT SCHOOL、東京、アーツ千代田3331、2018年9月19日)。
- ・「アートプロジェクトって何？」(札幌駅前通まちづくり株式会社「THINK SCHOOL 企画コース」、札幌、札幌駅前通まちづくり株式会社、2018年8月18日)。
- ・「現代美術とは何か」(東京大学「高校生のための東京大学オープンキャンパス2018」、東京大学工学部2号館、2018年8月2日)。
- ・「ソーシャリー・エンゲージド・アート概論②」(東京大学「社会を指向する芸術のためのアートマネジメント育成事業」、東京大学工学部2号館、2018年7月31日)。
- ・「ソーシャリー・エンゲージド・アート概論①」(東京大学「社会を指向する芸術のためのアートマネジメント育成事業」、東京大学工学部2号館、2018年7月3日)。

#### (4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・「河口龍夫と中原佑介」『河口龍夫個展：関係——中原佑介、あるいは創造としての批評』(アートフロントギャラリー、2019年3月)。
- ・「文章を読むこと、書くこと」『アートプロジェクトを紡ぐ——伝える・ひらく・つなげるためのヒント集』(アーツカウンシル東京、2019年)、62-65頁。
- ・「抽象表現主義」アメリカ学会編『アメリカ文化事典』(丸善出版、2018年)、524-525頁。
- ・「展覧会／コレクション」『美術手帖』第70巻第1068号(2018年8月)、96-97頁。
- ・「加治屋健司が提示する「共同研究の活性化」と「アーカイブ機能の強化」」(シリーズ：こ

れからの美術館を考える(1))ウェブ版美術手帖、2018年6月12日。 <https://bijutsutecho.com/magazine/series/s13/16534>

- ・「美術」『現代用語の基礎知識2018』(自由国民社、2018年)、887-893頁(建畠哲との共同執筆)。
- ・「シンポジウム抄録 宇佐美圭司《きずな》から出発して」(五神真、三浦篤、高階秀爾、鈴木泉、高岸輝、岡崎乾二郎、林道郎、木下直之、佐藤康宏、小林真理とのシンポジウム)『淡青』38号(2019年3月)、5-7頁。
- ・「東京大学美術作品展」(三浦篤、高岸輝との鼎談)『淡青』38号(2019年3月)、8-16頁。

## 2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目  
英語一列(S・A)
- (2) 後期課程担当科目  
造形空間芸術論II(S)
- (3) 大学院担当科目  
表象文化論実験実習I(S・A)

## 3. 学内行政業務

東京大学内の文化資産に関するタスクフォース(展覧会班)、文化資産管理・相談班ワーキング・グループ、国際日本研究コース運営委員、『超域文化科学紀要』編集委員、『アメリカ太平洋研究』編集委員

# 河合 祥一郎

## 1. 研究・研究成果の公刊

- (1) 著書
  1. 単著
    - ・『ロミオとジュリエット』原作=シェイクスピア、角川つばさ文庫、全227頁。680円。2019年2月15日
- (4) 書評、記事、エッセー、その他
  - ・Stage『リトル・ナイト・ミュージック』、『中央公論』2018年5号 p. 28, 2018年4月10日
  - ・Stage『シラノ・ド・ベルジュラック』、『中央公論』2018年6号 p. 28, 2018年5月10日
  - ・『『ウィルを待ちながら』を書きながら』『教養学部報』3面, 2018年6月1日
  - ・Stage『フリー・コミティッド』、『中央公論』2018年7号 p. 24, 2018年6月10日
  - ・Stage『死と乙女』、『中央公論』2018年8号 p. 24, 2018年7月10日
  - ・Stage『ナイツ・テイル——騎士物語』、『中央公論』2018年9号 p. 32, 2018年8月10日
  - ・「翻訳の河合教授が主宰、自ら演出、シェイクスピア新訳で」『陸奥新報』13面, 2018年9月3日
  - ・「シェイクスピア新訳舞台 河合東大教授「魂伝える」」『徳島新聞』16面, 2018年9月7日
  - ・Stage『贗作 桜の森の満開の下』、『中央公論』2018年10号 p. 24, 2018年9月10日
  - ・Stage『ゲゲゲの先生へ』、『中央公論』2018年11号 p. 24, 2018年10月10日
  - ・Stage『豊饒の海』、『中央公論』2018年12号 p. 24, 2018年11月10日
  - ・Stage『日本の歴史』、『中央公論』2019年1号 p. 20, 2018年12月10日
  - ・Stage『紫苑物語』、『中央公論』2019年2号 p. 89, 2019年1月10日
  - ・第26回読売演劇大賞最優秀男優賞、岡本健一「知性と才能がつくる演技力」『読売新聞』

20面, 2019年2月5日

- ・ Stage『イーハトーボの劇列車』、『中央公論』2019年3号 p. 20, 2019年2月10日
- ・ Stage『偽義経冥界歌』、『中央公論』2019年4号 p. 30, 2019年3月10日
- (5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他
  - ・ 書き下ろし新作「ウィルを待ちながら」、田代隆秀、高山春夫出演。戯曲は『悲劇喜劇』(2018年7月号) pp. 134-180に掲載。
  - ・ 翻訳：C・S・ルイス『ナルニア国物語3 竜の島と世界の果て』(アスキー・メディア・ワークスプロデュース、株式会社KADOKAWA発行)、全298頁。720円。2018年5月15日初版
  - ・ 上演：Kawai Project vol. 4 河合祥一郎作演出「ウィルを待ちながら」ステージ数15回、動員数691名、2018年7月4日(水)～18日(水)こまばアゴラ劇場
  - ・ 翻訳：シェイクスピア『新訳 オセロー』角川文庫(角川書店)、全219頁。640円。2018年7月25日初版
  - ・ 上演：Kawai Project vol. 5 シェイクスピア作、河合祥一郎翻訳演出「お気に召すまま」ステージ数10回、動員数1518名、2018年9月6日(木)～9日(日)シアタートラム、13日(木)～17日(月)さいたま芸術劇場小ホール
  - ・ 翻訳：シェイクスピア『新訳 お気に召すまま』角川文庫(角川書店)、全157頁。640円。2018年8月25日初版
  - ・ 翻訳：C・S・ルイス『ナルニア国物語4 銀のいすと巨人の都』(アスキー・メディア・ワークスプロデュース、株式会社KADOKAWA発行)、全300頁。760円。2018年11月15日初版

## 2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目  
英語中級、総合科目演劇論Ⅱ
- (2) 後期課程担当科目  
表象文化史
- (3) 大学院担当科目  
パフォーミングアーツ論Ⅱ

## 3. 学内行政業務

超域文化科学専攻長、表象文化論コース主任、環境委員、共用スペース運用委員、防災委員、ハラスメント委員、駒場ファカルティハウス運営委員、男女共同参画支援施設運営委員、ヒトを対象とする実験倫理委員、グローバル地域研究機構運営委員

## ||| 韓 燕麗

### 1. 研究・研究成果の公刊

- (1) 著書
  3. 共著
    - ・ *Cultural Politics around East Asian Cinema: 1939-2018*, Edited by Noriko Sudo & Takeshi Tanikawa, Trans Pacific Press, 2019. 2.
- (2) 論文
  1. 単著
    - ・ 「返還から20年：香港映画の現在」、『現代中国』第92号、日本現代中国学会、2018年11

月、62-66頁。

(3) 学会、研究会発表

- ・中国映画の「戦後」——空間と時間をめぐる再考、日本映像学会アジア映画研究会(第7回)2018年12月5日、於国際交流基金・御苑前オフィス。

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

中国語

(2) 後期課程担当科目

中国語上級会話、中国語テキスト分析、映像芸術論

(3) 大学院担当科目

表象文化論実験実習Ⅱ

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

関西学院大学 研究演習

3. 学内行政業務

学生委員会委員

## ||| 北田 暁大

---

1. 研究・研究成果の公刊

(1) 著書

1. 単著

- ・『社会制作の方法』勁草書房
- ・『終わらない「失われた20年」』筑摩書房

3. 共著

- ・『そろそろ左派は〈経済〉を語ろう——レフト3.0の政治経済学』亜紀書房
- ・『社会学はどこから来てどこへ行くのか』有斐閣

(2) 論文

1. 単著

- ・「日本型リベラルとは何であり、何でないのか——「革新」との連続と断絶」『現代思想』2月号
- ・「「彼女は東大を知らないから：実践のなかのジェンダー・トラブル」」『現代思想 増刊特集 ジュディス・バトラー』

2. 教育実績

(3) 大学院担当科目

文化ダイナミクス実験講義

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

情報学環「メディア社会学」「社会情報学基礎Ⅴ」「社会情報学研究Ⅴ」

3. 学内行政業務

総長補佐

## || 桑田 光平

---

### 1. 研究・研究成果の公刊

#### (2) 論文

##### 1. 単著

- ・「*L'inquiétante étrangeté — le motif de l'eau dans l'œuvre de Pascal Quignard*」(フランス語)、『*Littera*』、第4号、日本フランス語フランス文学会、2019年3月、39-48頁。
- ・「喪失と再生——パスカル・キニャールの文学」、『すばる』、集英社、2018年9月号、274-280頁。

##### 2. 共著

- ・「*Lettres japonaises*」(フランス語、Kazuhiko Suzukiとの共著)、*Les mondes de Gérard Macé*, Le temps qu'il fait, 2018年10月、179-191頁。

#### (3) 学会、研究会発表

- ・「*Encore quelques sordidissimes*」(フランス語)、国際シンポジウム「旅、ことばからことばへ：パスカル・キニャールと文学のアトリエ」、2018年5月13日、於・日仏会館(東京)。

#### (4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・「果樹園を探して——フィリップ・ジャコテ訪問記」、『午前四時のブルー 1. 謎、それは自分』、水声社、2018年4月、50-62頁。
- ・野村喜和夫『骨なしオデュッセイア』(幻戯書房)、『図書新聞』、2018年8月4日号。

#### (5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他

- ・ジェラルド・マセ著、桑田光平訳、『記憶は闇の中での狩りを好む』、水声社、2019年1月、全168頁。

### 2. 教育実績

#### (1) 前期課程担当科目

フランス語一列①、フランス語中級(演習)、美術論

#### (2) 後期課程担当科目

言語芸術論I

#### (3) 大学院担当科目

表象文化史I、地域文化研究特殊研究II

#### (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

放送大学「フランス語I」

### 3. 学内行政業務

美術博物館委員、奨学委員

## || 清水 晶子

---

### 1. 研究・研究成果の公刊

#### (1) 著書

##### 3. 共著

- ・中央大学人文科学研究所編、『読むことのクィア——続・愛の技法』(第9章「ビサイドのクィアネス——イヴ・セジウィックにおける接触」pp. 201-22 執筆担当)、中央大学出版部、2019年、全222頁。

(3) 学会、研究会発表

- ・ SHIMIZU, Akiko. “Marriage Equality as Strategy: Family Registration, Moral Conservatives, and the “LGBT” Fad in Japan”(国際学会、招待登壇), 2018/7/6, “Queering Japan” Conference, Haus der Universität Düsseldorf (ドイツ、デュッセルドルフ)
- ・ 清水晶子、「《エスニック・フェア》のダイバーシティ：可視性の政治を巡って」(招待登壇)、2018年日本女性学会シンポジウム、2018/6/2、武蔵大学(東京都)
- ・ 清水晶子、「非規範的・非典型的身体とダイバーシティの他者」(招待登壇)、2018年度政治思想学会シンポジウムIII「近代の統治権力とアイデンティティ・他者」、2018/5/27、甲南大学(神戸市)

(5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他

- ・ 「ジュディス・バトラー教授講演 “Bodies that Still Matter” および関連研究会」2018年12月8日、東京大学本郷キャンパス(東京)主催および司会。

## 2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

表象文化論

(2) 後期課程担当科目

表象文化論基礎演習

(3) 大学院担当科目

文化創造論II、規範と差異IV

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

国際基督教大学「ジェンダー、セクシュアリティと批評理論」

## 3. 学内行政業務

総合文化研究科総長補佐、男女共同参画室委員 (IARU 担当委員)

## ||| 高橋 哲哉

---

### 1. 研究・研究成果の公刊

(1) 著書

3. 共著

- ・ 『思想はいまなにを語るべきか 福島・沖縄・憲法』、前田朗との共著、三一書房、2018年、187 pp.
- ・ 『責任について 日本を問う20年の対話』、徐京植との共著、高文研、2018年、261 p.

(3) 学会、研究会発表

- ・ 発表「戦後責任についての基礎的考察——『日本人としての責任』をめぐって」、部会2「戦争と人間——個人の法的責任・権利・地位の地平」、日本平和学会春季研究大会、於：東京大学駒場キャンパス、2018年6月23日
- ・ 発表「戦後70年を超えて——現代日本の『記憶のポリティクス』」、国際シンポジウム「ポーランドと日本における第2次世界大戦の記憶：ホロコーストと原爆を起点とする比較的アプローチ」、JSPS 科研費「ポーランドの文学、美術、公共空間におけるホロコーストの記憶のジャンル横断的研究」主催、名古屋外国語大学ワールドリベラルアーツセンター共催、2018年11月17日

## 2. 教育実績

### (3) 大学院担当科目

文化制度論Ⅰ、社会制度変動論Ⅰ、生命と尊厳Ⅰ、人間の安全保障基礎論Ⅱ

## 3. 学内行政業務

副研究科長・副学部長、東アジア・リベラルアーツ・イニシアティブ長

# ||| 竹峰 義和

---

## 1. 研究・研究成果の公刊

### (1) 著書

#### 3. 共著

- ・三浦信孝／塚本昌則編『ヴァレリーにおける詩と芸術』(V-2章「絶対的なもの」のミメーシス——ヴァレリーを読むアドルノ)を執筆、水声社)、2018年8月、pp. 289-302.

### (2) 論文

#### 1. 単著

- ・「サンチョ・パンサの歩き方——ベンヤミンの叙事演劇論における自己反省的モチーフ」『思想』No. 1131、2018年7月、pp. 1329-148.
- ・「対抗毒としてのイメージ——アレクサンダー・クルーゲのメディア実践をめぐって」『ドイツ研究』第53号、2018年3月、pp. 809-89.

### (3) 学会、研究会発表

- ・「対抗毒としてのイメージ——アレクサンダー・クルーゲのメディア実践をめぐって」、日本ドイツ学会第34回大会、2018年7月1日(同志社大学)

### (5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他

- ・スカイプ・トーク：アレクサンダー・クルーゲ×竹峰義和×四方田犬彦、ゲーテ・インスティトゥート東京、2017年5月28日(東京ドイツ文化センター)
- ・【翻訳】ヴァルター・ベンヤミン「技術的複製可能性の時代における芸術作品【第一稿】」『思想』No. 1131、2018年7月、pp. 1-46.

## 2. 教育実績

### (1) 前期課程担当科目

映画論、初年次ゼミナール文科、初修ドイツ語、初修ドイツ語

### (2) 後期課程担当科目

テキスト分析演習Ⅳ、ドイツ思想テキスト演習、専門ドイツ語、メディア文化論

### (3) 大学院担当科目

国際コミュニケーション演習Ⅰ、文化クリティシズムⅡ、国際コミュニケーション演習Ⅰ、文化クリティシズムⅡ、欧州研究特別研究Ⅴ

## 3. 学内行政業務

ドイツ語部会会計

1. 研究・研究成果の公刊

(1) 著書

3. 共著

- ・前橋文学館編『サクタロウをアートする——解釈の悦楽』、萩原朔太郎記念 水と緑と詩のまち前橋文学館、2018年。

(2) 論文

1. 単著

- ・田中純「創像された怪物の解剖学——像行為論の射程」、『UP』548号(2018年6月号)、東京大学出版会、2018年、40～47頁。
- ・田中純「物質論的人文知(ヒューマニティーズ)としての「野生の考古学」——同時代への退行的発掘のために」、『現代思想』46巻13号(2018年9月号)、青土社、2018年、150～159頁。
- ・田中純「握斧(ハンドアックス)の像行為——起源/根源のメイキング」、『UP』551号(2018年9月号)、東京大学出版会、2018年、45～51頁。
- ・田中純「「のすたるぢや」の知覚——朔太郎の実験」、前橋文学館編『サクタロウをアートする——解釈の悦楽』、萩原朔太郎記念 水と緑と詩のまち前橋文学館、2018年、4～6頁。
- ・田中純「不死のテクノロジーとしての芸術——生政治のインスタレーション」、『UP』554号(2018年12月号)、東京大学出版会、2018年、46～51頁。
- ・田中純「歴史のゴースト・プラン——宇佐美圭司の思想の余白に」、『UP』557号(2019年3月号)、東京大学出版会、2019年、37～44頁。

(3) 学会、研究会発表

- ・田中純「歴史あるいは夜」、国際シンポジウム「パスカル・キニャールとの対話」、2018年5月12日、東京大学駒場キャンパス。
- ・田中純「歴史のGhost Plan——宇佐美圭司の思想(の余白に)」、ワークショップ「宇佐美圭司《きずな》から出発して」、2018年12月4日、東京大学駒場キャンパス。

(4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・書評：田中純「特攻隊表象を「食い破る」ものたちのために——中村秀之『特攻隊映画の系譜学——敗戦日本の哀悼劇』書評」、『表象』12号、表象文化論学会、2018年、281～284頁。
- ・エッセー：田中純「アーカイヴの魅惑と倫理」、『REPRE』33号、表象文化論学会、2018年6月22日、PRE・face。https://www.repre.org/repre/vol33/greeting/
- ・自著紹介：訳書・サイモン・クリッチリー『ボウイ——その生と死に』(新曜社)紹介記事、『REPRE』33号、表象文化論学会、2018年6月22日、新刊紹介。https://www.repre.org/repre/vol33/books/translation/tanaka/
- ・書評：田中純「罅(こだま)するかたち——岡崎乾二郎『抽象の力』、ダニエル・ヘラー＝ローゼン『エコラリアス』」、10+1web site「特集 ブック・レビュー2019」。http://10plus1.jp/monthly/2019/01/issue-02.php
- ・エッセー：田中純「原(音)景を求めて」、『群像』74巻3号(2019年3月号)、講談社、2019年、189～191頁。
- ・エッセー：田中純「抵抗としての引退——異なる生のかたちのために」、『現代思想』47

巻4号(2019年3月号)、青土社、2019年、206～214頁。

## 2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目  
初修外国語(ドイツ語)
- (2) 後期課程担当科目  
表象文化基礎論
- (3) 大学院担当科目  
表象文化論演習

## 3. 学内行政業務

一般社団法人 国立大学協会・入試委員会専門委員、文部科学省「大学入試英語4技能評価ワーキンググループ」委員(国立大学協会・入試委員会からの推薦)

# ||| 長木 誠司

---

## 1. 研究・研究成果の公刊

### (2) 論文

#### 1. 単著

- ・「ディスク遊歩人：音盤街そぞろ歩き(112) オペラ：愛の壊れるとき(5) ベレアスとメリザンド(承前)」『レコード芸術』67(4), 57-60, 2018-04
  - ・「ディスク遊歩人：音盤街そぞろ歩き(113) ツインマーマンの記念年：コンヴィチュニー体験」『レコード芸術』67(5), 59-62, 2018-05
  - ・「ディスク遊歩人：音盤街そぞろ歩き(114) ピエール・ブーレーズ・ザールとバレンボイムの仕事」『レコード芸術』67(6), 59-62, 2018-06
  - ・「ディスク遊歩人：音盤街そぞろ歩き(115) めぐり逢う朝：パスカル・キニャールと音楽への憎しみ」『レコード芸術』67(7), 59-62, 2018-07
  - ・「ディスク遊歩人：音盤街そぞろ歩き(116) アルチャーナの島へ」『レコード芸術』67(8), 61-64, 2018-08
  - ・「ディスク遊歩人：音盤街そぞろ歩き(117) アルチャーナの島へ(承前)」『レコード芸術』67(9), 57-60, 2018-09
  - ・「ディスク遊歩人：音盤街そぞろ歩き(118) オペラ：愛の壊れるとき(6) 海、静かな海」『レコード芸術』67(10), 57-60, 2018-10
  - ・「ディスク遊歩人：音盤街そぞろ歩き(119) オペラ：愛の壊れるとき(7) 静かな場所」『レコード芸術』67(11), 61-64, 2018-11
  - ・「ディスク遊歩人：音盤街そぞろ歩き(120) オペラ：愛の壊れるとき(6) 海、静かな海(承前)」『レコード芸術』67(12), 57-60, 2018-12
  - ・「ディスク遊歩人：音盤街そぞろ歩き(121) オペラ：愛の壊れるとき(7) 静かな場所(承前)」『レコード芸術』68(1), 61-64, 2019-01
  - ・「ディスク遊歩人：音盤街そぞろ歩き(122) アドルノ、フォーエヴァー・ヤング：翻訳になった『クワジ・ウナ・ファンタジア』賛」『レコード芸術』68(2), 61-64, 2019-02
  - ・「ディスク遊歩人：音盤街そぞろ歩き(123) オペラ：愛の壊れるとき(8)《トゥーランドット》」『レコード芸術』68(3), 57-60, 2019-03
- (5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他
- ・新国立劇場・西村朗《紫苑物語》監修

## 2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目  
前期ドイツ語必修授業、総合科目「音楽論」、学術フロンティア講義(合唱音楽の実践的研究)、学術フロンティア講義(西洋音楽の作曲技法概説)
- (2) 後期課程担当科目  
音響芸術論
- (3) 大学院担当科目  
アートマネージメント論Ⅱ

## 3. 学内行政業務

ピアノ委員長、オルガン委員、芸術創造連携研究機構準備委員長

# ||| ドゥヴォス、パトリック

---

## 1. 研究・研究成果の公刊

- (1) 著書
3. 共著
  - ・イザベル・ローネ他編『Danser en 68』、Deuxième Epoque出版、2018年。「Tokyo, 1968 — L'Insurrection de la chair」担当、27～56項。
- (3) 学会、研究会発表
  - ・国際シンポジウム『世界文学の可能性、日仏翻訳の遠近法』、発表「Traduire le théâtre」、日仏会館、2018年4月14日。
  - ・『パスカル・キニャールとの対話』、発表「パスカル・キニャールとパフォーマンス」、東京大学総合文化研究科、18号館、2018年5月12日。
- (4) 書評、記事、エッセー、その他
  - ・「Repères: Iromoyo Chotto Karimame, Narukami」(歌舞伎演目解説)、シャイヨ国立劇場歌舞伎公演パンフレット、合計3項、パリ、2018年9月。
  - ・藤井慎太郎とクリストフ・トリオーと共著「Un pont entre le Kabuki et le théâtre contemporain — Entretien avec Yûichi Kinoshita」、『Alternatives Théâtrales — Scène contemporaine japonaise 特集』、リエージュ、2018年。
- (5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他
  - ・Maekawa Tomohiro 著『La promenes des envahisseurs』、Radio-France (France-Culture チャンネル)、フランス国営ラジオ放送、9月22日公開リーディング、10月23日第一回放送。

## 2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目  
演劇論Ⅰ(総合科目)、フランス語初級(演習)
- (2) 後期課程担当科目  
共通フランス語(6)(作文)、フランス語中級(作文)、舞台芸術論Ⅰ
- (3) 大学院担当科目  
伝統と創造Ⅱ

## 3. 学内行政業務

初年次活動プログラム運営委員、就職担当委員、パリ第7大学及びパリ第8大学協定運営委員

## 1. 研究・研究成果の公刊

### (1) 著書

#### 2. 編著

- ・中島隆博編『世界の語り方』(2冊)、東京大学出版会、2018年9月
- ・『世界の語り方1 心と存在』、全272頁、『世界の語り方2 言語と倫理』、全309頁

#### 3. 共著

- ・小林康夫・中島隆博『日本を解き放つ』、東京大学出版会、2019年1月31日、全424頁

### (2) 論文

#### 1. 単著

- ・Takahiro Nakajima, “Civil Spirituality and Confucian Piety Today: The Activities of Confucian Temples in Qufu, Taipei, and Changchun,” Pages: 153–175, in *The Varieties of Confucian Experience: Documenting a Grassroots Revival of Tradition*, Ed. Sébastien Billioud, Leiden; Boston: Brill, July 26, 2018

#### (3) 学会、研究会発表

- ・中島隆博《作為語言的思想》、「語言、想像力、政治——東方民族思維與實踐中的語言觀工作坊」、台湾政治大学、2018年5月19日
- ・中島隆博「思想としての言語——翻訳について」、日本哲学史フォーラム、京都大学、2018年6月30日
- ・Takahiro Nakajima, “Dream of Association: Rethinking of Miki Kiyoshi,” in International Conference “Reconsidering the Universal and the Particular in East Asia,” Hokkaido University, August 8, 2018
- ・Takahiro Nakajima, “Open Philosophy,” 「東アジアを解き放つ」、韓国成均館大学、2019年2月16～17日

#### (4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・書評「人の資本主義」、『UP』546号、東京大学出版会、2018年4月号、50～55頁
- ・書評「言語に無理強いして世界哲学を開く」、『UP』552号、東京大学出版会、2018年10月号、50～55頁
- ・中島隆博「推薦序」、鈴木大拙『禪與日本文化：探索日本技藝内在形式的源頭』、遠足文化事業股份有限公司、2018年10月、2～11頁

## 2. 教育実績

### (2) 後期課程担当科目

現代思想演習、表象文化論特殊研究演習I

### (3) 大学院担当科目

イメージ分析論II

### (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

人文社会系研究科「中国哲学史講義」、上智大学「東洋思想」

## 3. 学内行政業務

Editor in chief of International Journal of Asian Studies

## ||| 乗松 亨平

---

### 1. 研究・研究成果の公刊

#### (2) 論文

##### 1. 単著

- ・「孤独の(不)可能性：グロイス／カバコフの共同アパートをめぐる」、『思想』4月号、2018年、56-71頁。
- ・“‘Explosion’ as National Identity: The Influence of Yuri Lotman on Russian Postmodernist Theory,” Mitsuyoshi Numano, ed., *World Literature and Japanese Literature in the Era of Globalization: In Search of a New Canon*, The Department of Contemporary Literary Studies, The U of Tokyo, 2018, pp. 131-148.
- ・「ロシアから「つながり」を考える：ソ連の行列的近代について」、『ゲンロンβ』29、2018年、電子書籍。

#### (3) 学会、研究会発表

- ・“Friendship in ‘Dark Times’: Moscow Unofficial Art after 1968,” Workshop of Literary Theory Committee of the International Comparative Literature Association、於ニューヨーク大学アブダビ校、2018年5月9日。
- ・「ナショナル・アイデンティティとしてのカタストロフィ?」、日本ロシア文学会プレシンポジウム「カタストロフィの想像力とロシア文化」、於名古屋外国語大学、2018年10月26日。

#### (4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・“Cosmism on Film: Anton Vidokle in Conversation with Kyohei Norimatsu,” *e-flux Conversations*, 2018 (coauthored with Anton Vidokle, web: <https://conversations.e-flux.com/t/cosmism-on-film-anton-vidokle-in-conversation-with-kyohei-norimatsu/7800>).
- ・「中村書評に答えて」、『ロシア語ロシア文学研究』第50号、2018年、209-212頁。

### 2. 教育実績

#### (1) 前期課程担当科目

ロシア語科目、表象文化論

#### (2) 後期課程担当科目

表象文化論実習、ロシア地域文化特殊演習、専門ロシア語

#### (3) 大学院担当科目

表象技術論

### 3. 学内行政業務

ロシア語部会教務委員、ロシア語部会TLP委員、後期課程表象文化論コース副主任、総合研究棟管理委員長、国際人材養成プログラム(GSP)運営副委員長

## ||| 松岡 心平

---

### 2. 教育実績

#### (1) 前期課程担当科目

初年次ゼミナール文科、日本語日本文学Ⅱ、日本文化論Ⅰ

#### (2) 後期課程担当科目

伝統芸能論Ⅱ、日本文化研究法Ⅰ

- (3) 大学院担当科目  
文化ダイナミクス演習 I

## ||| 森元 庸介

---

### 1. 研究・研究成果の公刊

- (3) 学会、研究会発表
- ・ « Pachet, ce maître de l'attention (littéraire) », *Pierre Pachet ou l'essai autobiographique et les avancées de la littérature*, colloque international, Université Meiji, le 27 octobre, 2018.
  - ・ « Du joli », *Littérature et politique. Dire la philosophie au XVIII<sup>e</sup> siècle français*, journées études japoно-coréennes, Université de Kyoto, le 23 février 2019.
- (4) 書評、記事、エッセー、その他
- ・「その子はどのようにして救われたのか」 書評 岡田温司『映画とキリスト』、『表象』第12号、pp. 286-288、2018年。
  - ・「解釈、ひとつの技術知、またその極端な帰結 ピエール・ルジャンドルに即して」、『中世原典思想集成1』、平凡社ライブラリー、pp. 645-657、2018年。

### 2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目  
フランス語
- (2) 後期課程担当科目  
表象システム論、共通フランス語
- (3) 大学院担当科目  
文化ダイナミクス実験実習 I
- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目  
青山学院大学(フランス語)、放送大学(フランス語)

### 3. 学内行政業務

学部後期課程・表象文化論コース主任、前期課程フランス部会・外国語教務委員、学生委員、図書委員

## ||| 林 少陽

---

### 1. 研究・研究成果の公刊

- (1) 著書
1. 単著
- ・林少陽『鼎革以文:清季革命與章太炎「復古」的新文化運動』, 上海人民出版社、2018年4月、408頁 ISBN: 9787208149854
- (2) 論文
1. 単著
- ・Lin Shaoyang, “Redefining the Late Qing Revolution: Its Continuity with the Taiping Rebellion, Radical Student Politics and Larger Global Context”, *Frontier of History in China*, 2018, 13(4): 531-557. ISSN1673-3401 査読有り
  - ・林少陽「章炳麟とその周辺の「文学」概念——漢字圏の言文一致運動と清末という二つの文脈」、愛知大学現代中国学会編『中国21』、49巻、2019年3月号、東京：東方書店、

29-52頁 (ISSN 1342-8241) 招待論文、査読なし

- ・林少陽「『五四』新学之修辞学：語言思想之現代嬗變」『中国現代文学』2018年12月第三十四期(半年刊)、中国現代文学学会、33-64頁(招待あり、査読あり、日本語旧著『『修辞』という思想』の一章の翻訳に基づいて再発展させた中国語論文)ISSN：1684-4238

(3) 学会、研究会発表

- ・Lin Shaoyang, “‘Chinese World Order’ Encounters ‘East Asian World Order’ — Postwar Japanese Historians’ Arguments on Tribute system”, International Conference “Global Cities Conference” at City University of Hong Kong on April 13-14, 2018.
- ・学会発表「章炳麟の「文学」概念と漢字圏の言文一致運動」国際シンポジウム「国語施策/言文一致運動を東アジアの視点から考える」(関西大学、2018年12月15日) 科研共催 科研費基盤A「明治日本の言文一致・国語施策と中国をはじめとする漢字圏諸国への波及についての研究」(代表：林少陽)、関西大学学術研究所

## 2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

中国語初級(インテンシヴ)

(2) 後期課程担当科目

倫理宗教論演習(現代思想コース)、表象文化論特殊研究演習Ⅲ、専門英語

(3) 大学院担当科目

文化ダイナミクス演習、アジア複合文化論、規範と差異Ⅰ、多文化共生・統合人間学実験演習Ⅴ

## 3. 学内行政業務

多文化共生・統合人間学プログラム(IHS)運営委員、グローバル共生プログラム(GHP)運営委員、超域文化科学紀要委員